

名興発條株式会社

2023年度環境経営活動レポート

(対象期間: 2023年4月～2024年3月)



作成日： 2024年5月24日

目次

1. 環境経営方針	1
2. 組織の概要	2
3. 認証・登録の対象組織・活動	3
4. 実施体制図	3
5. 環境経営目標	4
6. 環境経営目標の実績	5
7. 環境活動経営計画及び取り組み結果とその計画、今後の取り組み	6
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	7
9. 代表者による全体の評価と見直し	8

1. 環境経営方針

当社は、事業活動を通じて地球環境の保全への配慮のもとに環境に関する法規則、公害防止協定などの順守を図りながら社会の維持、発展に貢献する企業を目指して環境に関する事項を定め継続的な改善に努めます。

また、自社内で環境負荷を低減するために、目的・目標を定め計画的に実施及び見直しを行い、自主的・積極的に環境への取組みを全従業員一丸となって推進します。

1. 環境関連法規則や当社が約束したその他の要求事項を順守します。
2. 次の事項について具体的な環境目標・環境活動計画を定め実施します。
 - ①省エネルギーについて理解し、二酸化炭素の排出量を削減します。
 - ②廃棄物の分別推進に努め、リサイクルの推移・廃棄物の排出量を計画的に削減します。
 - ③水の使用量を把握して節水に努めます。
 - ④化学物質使用量の把握・適正管理に努めます。
 - ⑤資源のグリーン購入を推進します。
 - ⑥環境に配慮した製品の提供に努めます。
 - ⑦社会貢献活動を積極的に推進します。
3. 本方針を全社員に周知し、環境経営システムの継続的な改善を進めます。

制定日 2013年4月1日

名興発條株式会社

代表取締役社長 糟谷 信嘉

2. 組織の概要

(1) 名称及び代表者名

名興発條株式会社

代表取締役 糟谷 信嘉

(2) 所在地

本 社 愛知県名古屋市中区平和一丁目8番地10号

刈谷工場 愛知県刈谷市一里山町代払157

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 専務取締役 糟谷 豪宏 TEL：0 5 6 6－3 6－2 3 6 7

担当者 製造部 小池秀人 TEL：0 5 6 6－3 6－2 3 6 7

(4) 事業内容

自動車部品を主とした線ばね、薄板ばね、精密プレス部品及びサブAssy品の製造

(5) 事業の規模

製品出荷額 31億円（2023年度実績）

	本社	刈谷工場
従業員	3名	111名
延べ床面積	27m ²	10,801m ²

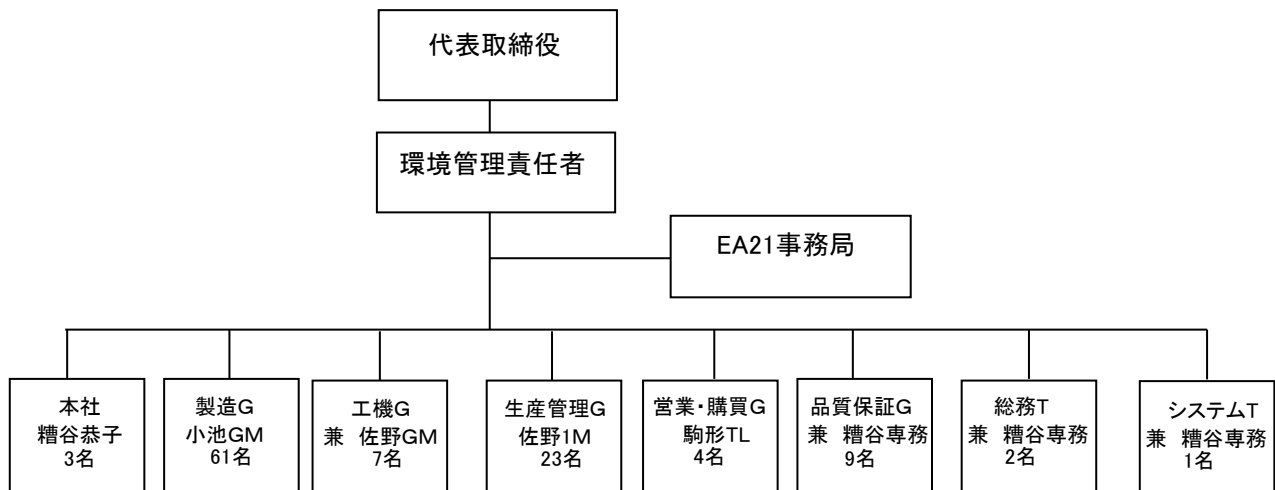
(6) 事業年度 4月～3月

3. 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 名興発條株式会社
本社
刈谷工場

活動：業内容と同じ

4. 実施体制図



	担当	役割・責任・権限
代表者	糟谷 社長	・環境方針の作成、環境管理責任者の任命、資源（インフラ）の準備。 ・代表者によるレビュー
環境管理責任者	糟谷 専務	・代表者に代わり、環境経営システムを構築・運用し状況を代表者に報告する。 ・外部からの苦情等の受付と必要対応および結果の記録
事務局	小池秀人	・環境関連文書及び記録の作成・管理
部門長	専務、小池GM、佐野GM、各TL 糟谷恭子（本社）	・EA21取り組み実施、実施状況確認、記録、事務局への提出
全従業員		・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚・決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

5. 環境経営目標(2022年度から2024年度)

環境方針 (キーワード)	環境目標項目 (負荷の自己チェックを踏まえて)	担当部門	単位	基準年度	目標	目標	目標
				2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	全部署	Kwh	— 1,701,891	3%減 1,650,834	6%減 1,599,778	9%減 1,548,721
	ガソリン使用量の削減	全部署	L	— 3,609	1%減 3,573	2%減 3,537	3%減 3,501
	灯油使用量の削減	全部署	L	— 339	1%減 336	2%減 332	3%減 329
	LPG使用量の削減	全部署	Kg	— 1,776	1%減 1,758	2%減 1,740	3%減 1,723
	二酸化炭素総排出量の削減	全部署	kg-CO2	— 653,404	3%減 633,802	6%減 614,200	9%減 594,598
			kg-CO2/百万円	— 242	3%減 235	6%減 227	9%減 220
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物の削減	全部署	Kg	— 9,007	1%減 8,917	2%減 8,827	3%減 8,737
	産業廃棄物の削減 (特管含む)	全部署	Kg	— 60,106	1%減 59,505	2%減 58,904	3%減 58,303
節水	水使用量の削減	全部署	m³	— 4,419	1%減 4,375	2%減 4,331	3%減 4,286
化学物質使用量の適正管理	化学物質使用量の把握 化学物質の適正管理(SDS)	生産G	—	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理
グリーン購入の推進	エコ商品の購入の促進	全部署	—	購入促進	購入促進	購入促進	購入促進
不適合品の削減	得意先の不良率	品質G	ppm	0.800	0.800	0.800	0.800
社会貢献	会社周辺の清掃実施	全部署	件/年	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年

注) 2021年度を基準とし、年率3%削減の中期3か年の目標を立てる。

6. 環境経営目標の実績

環境方針	環境目標項目	担当部門	単位	目標	実績	結果
(キーワード)	(負荷の自己チェックを踏まえて)					
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	全部署	Kwh	1,599,778	1,559,687	○
	ガソリン使用量の削減	全部署	L	3,537	4,447	×
	灯油使用量の削減	全部署	L	332	461	×
	LPG使用量の削減	全部署	Kg	1,740	1,776	×
	二酸化炭素総排出量の削減	全部署	kg-CO2	614,200	647,287	×
			kg-CO2/百万円	227	206	○
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物の削減	全部署	Kg	8,827	10,030	×
	産業廃棄物の削減(特管含む)	全部署	Kg	58,904	46,286	○
節水	水使用量の削減	全部署	m ³	4,331	4,108	○
化学物質使用量の適正管理	化学物質使用量の把握	生産G	-	適正管理	適正管理実施	○
	化学物質の適正管理(SDS)					
グリーン購入の推進	エコ商品の購入の促進	全部署	-	購入促進	購入促進実施	○
不適合品の削減	得意先の不良率	品質G	ppm	0.800	0.496	○
社会貢献	会社周辺の清掃実施	全部署	件/年	2回/年	2回	○

注) 電力使用量のCO2調整後排出係数は中部電力平成令和3年度値0.388kg-CO2/kwhを使用

7.環境活動経営計画及び取り組み結果とその計画、今後の取り組み

	環境目標項目	取組内容	担当部門	結果・評価と今後の取り組み
	(負荷の自己チェックを踏まえて)	(取組の自己チェックを踏まえて)		
二酸化炭素排出量	二酸化炭素排出量目標の達成状況		—	目標達成
	電力使用量の削減	電力使用量目標の達成状況	—	目標達成
		冷暖房管理の徹底 (夏場28度、冬場20度)	全部署	今年度は4月～9月にコロナ禍で生産量が落ちたことにより電力量が大きく減少したが、日々のチェックリストに基づき、各現場が設定温度の遵守や使用していない箇所の節電を求めます。
		コンプレッサーのフィルターを2回/年清掃する	製造G 保全改善T	各担当部署が清掃を実施するとともに定期的にフィルターを交換をしていきます。
		空調機のフィルターを2回/年清掃する	全部署	各担当部署が清掃を実施するとともに定期的（1回/2ヶ月）にフィルターを交換を続けていきます。
		休憩時、不要時の照明の消灯	全部署	チェックリストには○と記載していることが多いが、抜き打ちで確認に行くと付けっぱなしのことが多いので、責任者の教育と定期的に巡回し確認を行います。
		不使用のOA機器電源OFF	総務G、営業・購買G、品質保証G、生産管理G	間接部門のPCや複合機などは休憩時間は電源をOFFまたは省電力モードになるように設定しているが継続して続けていきます。
		設備の不使用时の主電源OFF	製造G 工機G	コロナ禍で4月～9月の生産量の減少に伴い、全設備とまではいかないが使用していない稼動頻度が少ない設備については継続します。
		コンプレッサーのエアー漏れの点検	製造G	現場からのエアー漏れ報告と保全の定期確認で発見次第修理を行い、エアー洩れのない職場作りをしていきます。
	ガソリン使用量の削減	ガソリン使用量目標の達成状況	—	目標未達【未達要因：売上増による】
		エコドライブの実施	全部署	車両更新時には低燃費なエコ車にし、運転者にはエコドライブを心がけてもらおうと共にドライブレコーダーによる急発進や急ブレーキを啓蒙します。
		アイドリングストップの徹底	全部署	自動アイドリングSTOP機能を使用するとともに、駐停車中のアイドリングストップの徹底を心がけます。
		社用車購入時にエコカーの導入	全部署	9割がエコカーに切り替えていますが、残された社用車も今後はエコカーに更新していきます。
	灯油使用量の削減	灯油使用量目標の達成状況	—	目標達成
		暖房の温度管理の徹底 (冬場20度)	全部署	各Gの責任者と事務局で定期的に巡回し温度設定が適正かどうかを確認した上、使用者に指導・教育していきます。
		LPG使用量の削減	—	目標未達【未達要因：夏場の空調使用増による】
	LPG使用量の削減	LPG使用量目標の達成状況	—	目標未達【未達要因：夏場の空調使用増による】
		冷暖房の温度管理の徹底 (夏場28度、冬場20度)	生産管理G(ズブキ工務)及び事務所	各Gの責任者と事務局で定期的に巡回し温度設定が適正かどうかを確認した上、使用者に指導・教育していきます。
総排水量	水使用量の削減	環境経営目標の達成状況	—	目標達成
		節水表示の推進	総務G	手洗い場には節水の掲示をし、全社員に節水の協力を継続していきます。
		水を流しっぱなしにしない	全部署	手洗い場には節水の掲示をし、手を洗う際には水を出しっぱなしにしないよう全社員に節水の協力を継続していきます。
廃棄物排出量の削減	産業廃棄物の削減	産業廃棄物目標の達成状況	—	目標未達【未達要因：売上増による】
		ゴミの分別	全部署	各班ごとに外国人労働者が一目でゴミの分別が出来るよう母国語とイラストを入れた作業標準書を作成し、再利用エネルギーに変換が可能なゴミの分別を継続します。
	一般廃棄物の削減	環境経営目標の達成状況	—	目標達成
化学物質	化学物質の管理徹底	紙の分別・資源化	全部署	古紙の分別を進める努力をしているが分別が細かく出来ていないのが現状である。回収業者に確認しいち早く分別し有価化する努力をします。
		シンナーの購入量把握及び使用管理 (手順書による)	生産G 技術G	特別産業廃棄物の管理（識別塗装用シンナー）を有機溶剤の責任者をお願いし、事務局でも管理をしていきます。
		SDSの収集	総務G	1回/年、主にSDSの更新を実施しているが、不十分であるため、各部署と連携し、常時最新版が保管されるようにします。
物質	事務用品のグリーン購入	文房具のグリーン品の購入	総務G	購入先のネットサイトでエコ商品を購入しています。継続してエコ商品の購入をしていきます。
製品	不適合品の削減	得意先の不良率	製造G	引き続き品証Gと製造Gで毎月管理を行っていきます。
社会	会社周辺の清掃	会社周辺の清掃実施	総務G	労働組合主催で年2回近隣のゴミ拾いと近隣道路や駐車場の草刈を実施しております。
		(2回/年)		

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果
並びに違反、訴訟等の有無

作成日：2022年6月22日
作成者：環境管理責任者 糟谷豪宏
評価日：2024年8月20日
評価者：環境管理責任者 糟谷豪宏

適用法令等	内容	遵守項目	遵守評価 ○…遵守 ×…不遵守
廃棄物処理法	廃棄物の適正分別と保管場所の確保	廃棄物分別手順と保管場所の掲示	○
	産業廃棄物の適正処理(収集運搬、処理業者への委託)	委託契約書	○
	産業廃棄物管理表(マニフェスト)の交付と期間内処理の確認	マニフェスト管理と5年間保存	○
	管理票交付状況の県知事への年度報告(6月30日期限)	管理票交付状況報告書	○
	特別管理産業廃棄物管理責任者の選任	管理責任者の選任	○
消防法	メタノールの保管・シンナーの保管	管轄の消防署へ届出(少量危険物貯槽所)	○
	新油・廃油の保管	指定数量比が0.2以上1未満	○
		保管量、保管方法の遵守。貯蔵所の明示。	○
愛知県廃棄物適正処理条例	産業廃棄物委託業者の能力確認、年度現地確認	契約産業廃棄物業者の現地確認	○
騒音規制法	騒音発生特定施設の届出(7.5kW以上)	機械プレス(重量30t以上)届出	○
	地域住民の苦情への対応	集塵機 圧縮機 フォーミングマシン	○
振動規制法	振動発生特定施設の届出	機械プレス(1Kw以上)届出	○
	地域住民の苦情への対応	集塵機 圧縮機 フォーミングマシン	○
浄化槽法	特定行政庁への設置届出	届出書	○
	保守点検基準の遵守	点検結果	○
	清掃基準の遵守	清掃結果	○
フロン排出抑制法	特定製品の修理、廃棄時の適正回収・破壊措置義務	フロン回収登録業者への委託 業務用エアコン廃棄	○
	業務用冷凍空調機器点検と記録	室外機簡易点検、定期点検(7.5kW以上)	○
家電リサイクル法	指定所へ廃棄	エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機の廃棄	○
愛知県民の生活環境保全条例	騒音発生施設の届出(3.75Kw以上)		○
	自動車の駐車時のアイドリングストップ及び社員教育義務	従業員への教育指導	○
		アイドリングストップ表示の掲示	○
毒劇物取締法	メタノール使用・盗難防止(管理者の明示)	SDSの管理 入出庫の管理	○
公害防止組織法	公害防止管理者の任命・登録	適正管理	○
高圧ガス保安法	酸素・窒素・PLG・アセチレンガスボンベ使用	転倒防止等技術的基準の遵守	○
その他の要求事項	受注先のグリーン調達ガイドライン遵守	ガイドライン遵守	○
自動車リサイクル法	使用済自動車の取引業者への適正な引渡し	自動車の廃却	○
水質汚濁防止法	酸・アルカリ表面処理施設(バレル処理水)	排水基準の遵守	○

(対象期間：2023年4月～2024年3月)
なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

9. 代表者による全体の評価と見直し

作成：2024年5月24日

当社のCo2排出量の98%を占める電気の削減を1年間通して行ってきた。対前年では使用量は0.53%の削減、加工高比率は21.6%と削減ができ、改善効果があった事を実感できた。引き続き新たな改善アイテムの模索と、全社員で日々のCN意識の維持向上に努め、引き続き改善を進めていきます。

以下の項目については特に問題なく実施しており継続する。

- ・環境経営方針：変更なし
- ・環境経営目標：継続する
- ・環境経営計画：継続する
- ・実施体制：継続する